

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第3区分

【発行日】平成23年12月1日(2011.12.1)

【公表番号】特表2011-503274(P2011-503274A)

【公表日】平成23年1月27日(2011.1.27)

【年通号数】公開・登録公報2011-004

【出願番号】特願2010-532540(P2010-532540)

【国際特許分類】

C 09 K	3/00	(2006.01)
C 09 D	201/00	(2006.01)
C 09 D	5/32	(2006.01)
C 09 D	7/12	(2006.01)
C 09 D	11/02	(2006.01)
C 09 J	11/04	(2006.01)

【F I】

C 09 K	3/00	1 0 5
C 09 D	201/00	
C 09 D	5/32	
C 09 D	7/12	
C 09 D	11/02	
C 09 J	11/04	

【手続補正書】

【提出日】平成23年10月17日(2011.10.17)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

コーティングのNIR硬化工程、及びコーティングのNIR乾燥工程で、近赤外線の熱入力量を増加させるための、式

$W O_3 - x$

[式中、Wはタンゲステン、Oは酸素、及びxは0.1~1である]

の酸化タンゲステンの使用、及び/又は式

$M_x W_y O_z$

[式中、

Mは、NH₄、H、Li、Na、K、Rb、Cs、Ca、Ba、Sr、Fe、Sn、Mo、Nb、Ta、Ni、Pd、Pt、Cu、Ag、Au、Zn、Cd、Al、Ga、In、Tlから選択される1又は1つより多い要素であり、

Wはタンゲステンであり、

Oは酸素であり、

$0.001 < x/y < 1$ 、かつ $2.0 < z/y < 3.0$ である]

のタンゲステン酸塩の使用。

【請求項2】

タンゲステン亜酸化物WO_{2.72}、及びH_{0.3-0.7}WO₃、Na_{0.2-0.5}WO₃、Cs_{0.2-0.5}WO₃から選択されるタンゲステンブロンズが使用される、請求項1に記載の使用。

【請求項3】

$\text{Cs}_{0.2-0.5}\text{WO}_3$ が使用される、請求項1又は2に記載の使用。

【請求項4】

コイルコーティングのNIR硬化工程又はNIR乾燥工程での、請求項1から3までのいずれか1項に記載の使用。

【請求項5】

NIR硬化工程又はNIR乾燥工程における、顔料着色されたコーティング内での、請求項1から4までのいずれか1項に記載の使用。

【請求項6】

プラスチックのレーザーマーキング工程での、近赤外線の熱入力量を増加させるための、式

$\text{WO}_3 - x$

[式中、Wはタンゲステン、Oは酸素、及びxは0.1~1である]

の酸化タンゲステンの使用、及び/又は式

$M_x W_y O_z$

[式中、

Mは、NH₄、H、Li、Na、K、Rb、Cs、Ca、Ba、Sr、Fe、Sn、Mo、Nb、Ta、Ni、Pd、Pt、Cu、Ag、Au、Zn、Cd、Al、Ga、In、Tlから選択される1又は1つより多い要素であり；

Wはタンゲステンであり、

Oは酸素であり、

0.001 < x/y < 1、かつ 2.0 < z/y < 3.0 である]

のタンゲステン酸塩の使用。

【請求項7】

タンゲステン亜酸化物 $\text{WO}_{2.72}$ 、及び $\text{H}_{0.3-0.7}\text{WO}_3$ 、 $\text{Na}_{0.2-0.5}\text{WO}_3$ 、 $\text{Cs}_{0.2-0.5}\text{WO}_3$ から選択されるタンゲステンプロンズが使用される、請求項6に記載の使用。

【請求項8】

$\text{Cs}_{0.2-0.5}\text{WO}_3$ が使用される、請求項6又は7に記載の使用。

【請求項9】

プラスチックのレーザー溶着工程で、近赤外線の熱入力量を増加させるための、式

$\text{WO}_3 - x$

[式中、Wはタンゲステン、Oは酸素、及びxは0.1~1である]

の酸化タンゲステンの使用、及び/又は式

$M_x W_y O_z$

[式中、

Mは、NH₄、H、Li、Na、K、Rb、Cs、Ca、Ba、Sr、Fe、Sn、Mo、Nb、Ta、Ni、Pd、Pt、Cu、Ag、Au、Zn、Cd、Al、Ga、In、Tlから選択される1又は1つより多い要素であり；

Wはタンゲステンであり、

Oは酸素であり、

0.001 < x/y < 1、かつ 2.0 < z/y < 3.0 である]

のタンゲステン酸塩の使用。

【請求項10】

タンゲステン亜酸化物 $\text{WO}_{2.72}$ 、及び $\text{H}_{0.3-0.7}\text{WO}_3$ 、 $\text{Na}_{0.2-0.5}\text{WO}_3$ 、 $\text{Cs}_{0.2-0.5}\text{WO}_3$ から選択されるタンゲステンプロンズが使用される、請求項9に記載の使用。

【請求項11】

$\text{Cs}_{0.2-0.5}\text{WO}_3$ が使用される、請求項9又は10に記載の使用。

【請求項12】

接着剤及び封止剤のNIR硬化工程、並びに接着剤及び封止剤のNIR乾燥工程で、近赤外線の熱入力量を増加させるための、式

$\text{WO}_3 - x$

[式中、Wはタンゲステン、Oは酸素、及びxは0.1~1である]

の酸化タンゲステンの使用、及び/又は式

$M_x W_y O_z$

[式中、

Mは、NH₄、H、Li、Na、K、Rb、Cs、Ca、Ba、Sr、Fe、Sn、M_o、Nb、Ta、Ni、Pd、Pt、Cu、Ag、Au、Zn、Cd、Al、Ga、In、Tlから選択される1又は1つより多い要素であり；

Wはタンゲステンであり、

Oは酸素であり、

0.001 < x/y < 1、かつ 2.0 < z/y < 3.0 である]

のタンゲステン酸塩の使用。

【請求項13】

タンゲステン亜酸化物WO_{2.72}、及びH_{0.3-0.7}WO₃、Na_{0.2-0.5}WO₃、Cs_{0.2-0.5}WO₃から選択されるタンゲステンブロンズが使用される、請求項12に記載の使用。

【請求項14】

Cs_{0.2-0.5}WO₃が使用される、請求項12又は13に記載の使用。

【請求項15】

紙のレーザーマーキング工程で、近赤外線の熱入力量を増加させるための、式
WO_{3-x}

[式中、Wはタンゲステン、Oは酸素、及びxは0.1~1である]

の酸化タンゲステンの使用、及び/又は式

$M_x W_y O_z$

[式中、

Mは、NH₄、H、Li、Na、K、Rb、Cs、Ca、Ba、Sr、Fe、Sn、M_o、Nb、Ta、Ni、Pd、Pt、Cu、Ag、Au、Zn、Cd、Al、Ga、In、Tlから選択される1又は1つより多い要素であり；

Wはタンゲステンであり、

Oは酸素であり、

0.001 < x/y < 1、かつ 2.0 < z/y < 3.0 である]

のタンゲステン酸塩の使用。

【請求項16】

タンゲステン亜酸化物WO_{2.72}、及びH_{0.3-0.7}WO₃、Na_{0.2-0.5}WO₃、Cs_{0.2-0.5}WO₃から選択されるタンゲステンブロンズが使用される、請求項15に記載の使用。

【請求項17】

Cs_{0.2-0.5}WO₃が使用される、請求項15又は16に記載の使用。

【請求項18】

印刷インキの乾燥工程、又はインクトナーを基材に定着させる工程で、近赤外線の熱入力量を増加させるための、式
WO_{3-x}

[式中、Wはタンゲステン、Oは酸素、及びxは0.1~1である]

の酸化タンゲステンの使用、及び/又は式

$M_x W_y O_z$

[式中、

Mは、NH₄、H、Li、Na、K、Rb、Cs、Ca、Ba、Sr、Fe、Sn、M_o、Nb、Ta、Ni、Pd、Pt、Cu、Ag、Au、Zn、Cd、Al、Ga、In、Tlから選択される1又は1つより多い要素であり；

Wはタンゲステンであり、

Oは酸素であり、

0.001 < x/y < 1、かつ 2.0 < z/y < 3.0 である]

のタンゲステン酸塩の使用。

【請求項 19】

タンゲステン亜酸化物 $WO_{2.72}$ 、及び $H_{0.3-0.7}WO_3$ 、 $Na_{0.2-0.5}WO_3$ 、 $Cs_{0.2-0.5}WO_3$ から選択されるタンゲステンプロンズが使用される、請求項 18 に記載の使用。

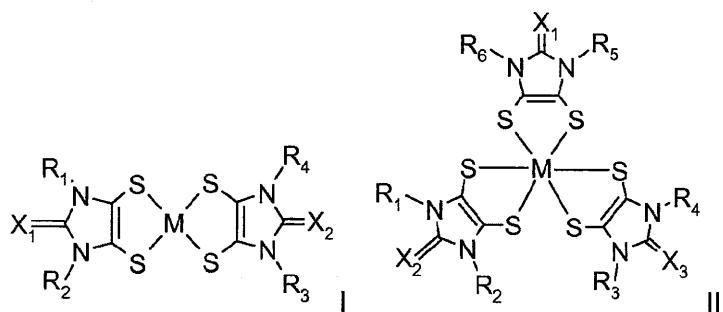
【請求項 20】

$Cs_{0.2-0.5}WO_3$ が使用される、請求項 18 又は 19 に記載の使用。

【請求項 21】

近赤外線の熱入力量を増加させるための、請求項 1 に記載の酸化タンゲステン及び / 又はタンゲステン酸塩、並びに加えて、式 I 又は II

【化 1】



[式中、

M は Ni、Pd、Pt、Au、Ir、Fe、Zn、W、Cu、Mo、In、Mn、Co、Mg、V、Cr 及び Ti であり、

X_1 、 X_2 及び X_3 は、相互に独立して、硫黄又は酸素であり；

R_1 、 R_2 、 R_3 、 R_4 、 R_5 及び R_6 は相互に独立して水素、 NR_7R_8 、 C_1-C_{18} アルキル、アリール、アラルキル、ヘテロアリールアルキルである（この際、 R_7 と R_8 は相互に独立して C_1-C_{18} アルキル、アリール、アラルキル、ヘテロアリールアルキルである）

]

のジチオレン金属錯体を含む、ブレンドの使用。

【請求項 22】

請求項 1 に記載の酸化タンゲステン及び / 又はタンゲステン酸塩、並びに加えて、キノンジイモニウム塩、アミニウム塩、ポリメチンフタロシアニン、ナフタロシアニン、及び クアテリレンビスイミドから選択される少なくとも 1 つの有機 IR 吸收剤、又は加えて、ランタンヘキサボライド、インジウムスズ酸化物 (ITO) アンチモンスズ酸化物、若しくは顔料から選択される少なくとも 1 つの無機 IR 吸收剤を含む、ブレンドの使用。